

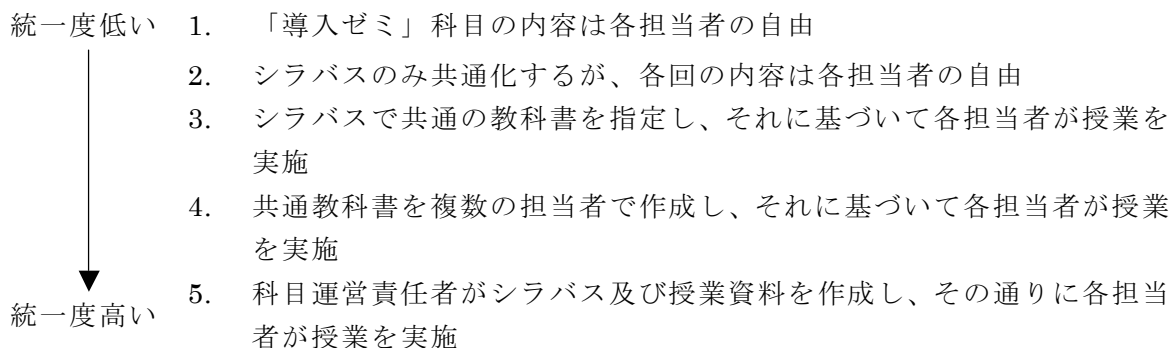
## 小規模大学における初年次中退防止施策の効果検証

田尻慎太郎（横浜商科大学）

### 1. 初年次導入ゼミ

現在、多くの大学では新入生を対象にした「基礎ゼミナール」「スタートアップセミナー」「フレッシュマンセミナー」「入門ゼミ」といった名称で行われる導入段階の演習科目を設置している。アメリカでの **First-Year-Experience** プログラムを参考に 2000 年代から国内でも急速に普及し、平成 25 年度の文部科学省の調査では初年次教育を実施する大学は 690 大学に達している。当初はノートの取り方やアカデミック・リーディング、ライティングの基礎、図書館の使い方、インターネットによる情報検索、プレゼンテーションといった大学生として必要になる「新しい」スタディ・スキルを 1 年生に教えるものが中心であった。それが現在では **PBL (Project Based Learning)** などのアクティブ・ラーニングを導入したものや、キャリア教育の要素を含むものへと様々な拡大発展しているといえよう。

導入ゼミで特徴的なのは概ね 15～40 人からなるクラスを編成しなければならないことである。大規模な大学になるとそのクラスを担当するのに必要な教員数は 100 人を超えることもある。導入ゼミの実施方法は各大学で様々に異なるが、授業内容の統一度から大別すると以下のようなになる。



導入ゼミの授業内容及びクラス運営の統一度を高めることで、大学・学部としては初年時以降のカリキュラム・ポリシーを実施していく上での基礎揃えを行えるメリットがある。そのため一部の研究大学を除いて、今後は統一度を高める方向で全国的に進んでいくことが予想される。

### 2. 初年次教育における中退防止

また教育の質保証といった観点以外で導入ゼミが注目されるのは中退防止である。一般に文系で少人数の私立単科大学は他の種類の大学に比して中退率が高い傾向にあるため、導入ゼミの効果的な運営が経営的にも重要となる。そこで導入ゼミに求められるのは、上述の内容に加えて、クラスを通じた仲間作り、居場所作り、学習習慣の定着といったものになる。

横浜商科大学では、2013 年度まで必修の導入ゼミ科目であった「基礎演習」を上記 3. のように統一教科書で実施していたが、ほとんどのクラスを非常勤教員が担当するという実施スタイルであった。そのため 1 年生の教育ニーズを大学側が把握することが困難であり、それが中退増につながるという問題があった。そこで 2014 年度より科目運営の責任者として科目コーディネーターを置き、コーディネーターが授業内容の企画設計を行い、シラバスとすべての授業資料を作成し、他のクラス担当者はそれに基づいて授業を実施するという 5. のスタイルに改めた。それに加えて SA (Student Assistant) 制度も導入し、各初年次クラスには 2 名の先輩学生によるアシスタントを配置した。

もっともコーディネーターから配布される授業資料（PowerPoint の投影資料やワークシートなど）を使えば誰でも同じクオリティで授業が実施できるわけではないため、学期前、学期後には科目担当者会議を複数回開催して授業についての共通理解を深め、学期中はメーリングリストや LINE グループをリアルタイムに活用して情報共有を図り、授業の質の向上に努めた。また 2014 年度春期休暇中には導入ゼミ改革を加速させるために NPO 法人 NEWVERY と協力して、初年次科目担当者を中心にした FD ワークショップを実施した。また教学 IR の基礎となる各学生の入学前の属性（出身高校名、出身高校の偏差値、調査書の評定平均、欠席日数）、入学後の出席データ、修得単位数、GPA といった情報を整理し、2015 年度新生生に向けたデータに基づく以下のような中退防止戦略を立案した。

- リアルタイムでの出欠把握
- 出席管理の厳格化（2015 年度学期中 5 回欠席で不合格→2016 年度学期中 3 回欠席で不合格）
- 学期初の履修指導の充実
- マナー教育、ハラスメント防止教育
- コミュニケーション演習（傾聴、協働力）
- 授業開始時間の厳守
- 学業不振者（含む出席不良者）の大学からの呼び出し、個別面談
- Google Apps for Education の導入と Google Classroom の活用
- PROG テストの導入

その結果、改革実施前の 2013 年度には初年次中退者数が 24 名であったものが、2014 年度には 22 名、2015 年度には 17 名と逡減することに達成した。

#### 【参考文献】

河合塾編（2010）『初年次教育でなぜ学生が成長するのか』東信堂。

白鳥成彦・田尻慎太郎（2016）「在学中キャリアを意識した初年次教育」『ECO-FORUM』Vol.31, NO.2.

全国ビジネス系大学教育会議編（2012）『ビジネス系大学教育における初年次教育』学文社。

日本中退予防研究所編（2011）『中退予防戦略』NEWVERY.